

定期作況報告

平成29年6月
(6月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

5月下旬：最高気温は平年並で、最低気温は平年より極めて高く、平均気温は平年より高かった。降水量は平年より多かった（平年比177%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比64%）。

6月上旬：最高気温は平年より極めて低く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年より極めて低かった。降水量は平年より多かった（平年比158%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比72%）。

6月中旬：最高気温は平年よりやや低く、最低気温は平年より極めて低く、平均気温は平年より低かった。降水量は平年より多かった（平年比167%）。日照時間は平年より多かった（平年比145%）。

以上のことから、この1か月間（5月下旬～6月中旬）は、気温は平年よりやや低く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並であった。

気 象 表

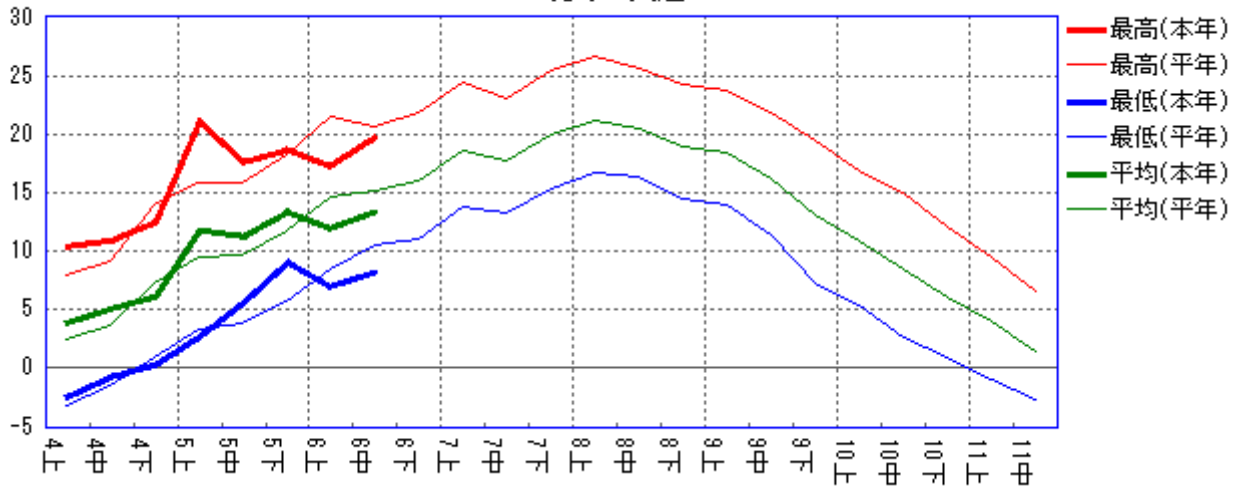
月 旬	平均気温(°C)			最高気温(°C)			最低気温(°C)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
5月 下旬	13.3	11.7	1.6	18.7	18.2	0.5	9.0	5.7	3.3
6月 月上旬	11.9	14.7	-2.8	17.2	21.5	-4.3	7.0	8.5	-1.5
6月 月中旬	13.4	15.2	-1.8	19.7	20.6	-0.9	8.1	10.6	-2.5

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
5月 下旬	28.5	16.1	12.4	40.9	64.4	-23.5
6月 月上旬	29.0	18.3	10.7	46.1	63.6	-17.5
6月 月中旬	50.0	30.0	20.0	68.1	47.1	21.0

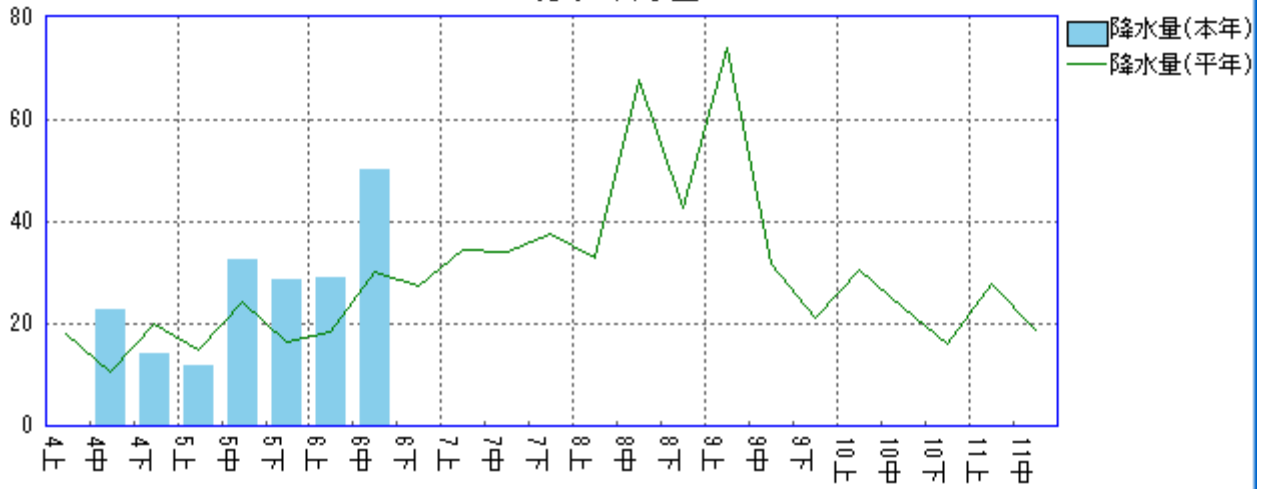
注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。

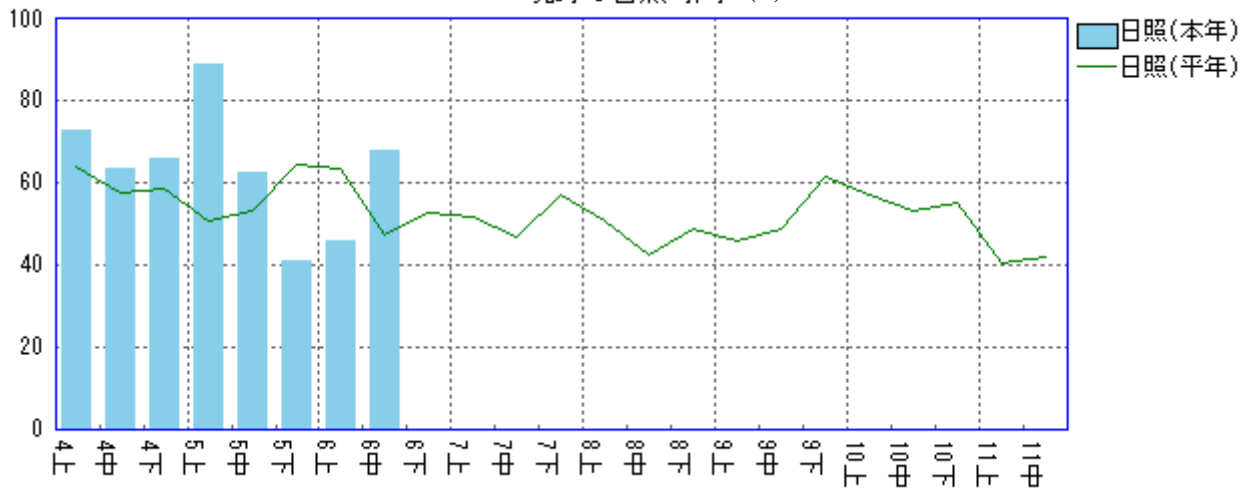
境野の気温 (°C)



境野の降水量 (mm)



境野の日照時間 (h)



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦 作 況：やや不良

事 由：5月下旬の平均気温は平年より高かったため生育が進んだが、6月上旬は極めて低く推移し、出穂期は平年より1日早い6月8日であった。6月中旬は平均気温が低かったため、開花の進捗はやや緩慢であった。草丈は平年並、茎数は平年をやや下回った。

以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

調査項目	きたほなみ		
	本年	平年	比較
出穂期 (月.日)	6.8	6.9	△1
草丈(cm) (6月20日)	91.9	91.2	0.7
茎数(本/㎡) (6月20日)	658	758	△100

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、27年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 春まき小麦 作 況：平年並

事 由：この1か月間は、気温は平年よりやや低かったものの、日照時間は平年並であった。草丈は平年をやや上回り、茎数はやや少ない。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	73.1	69.4	3.7	70.4	69.3	1.1
茎数(本/㎡) (6月20日)	758	822	△64	759	813	△54

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、27年(最豊)を除く5か年の平均。

3) とうもろこし 作 況：平年並

事 由：播種は平年より2日早い5月15日に行った。出芽期は平年より2日早い5月29日であった。出芽後は6月上～中旬の気温が平年より低く推移したため、草丈は平年より低いが、葉数は概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.15	5.17	△2
出芽期 (月.日)	5.29	5.31	△2
草丈(cm) (6月20日)	24.1	31.3	△7.2
葉数(枚) (6月20日)	4.4	4.8	△0.4

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

4) 大 豆 作 況：不良

事 由：播種は平年より4日早い5月19日に行った。播種後の土壌水分が充分であったため、出芽は順調であった。出芽後は低温に推移したため生育は停滞し、主茎長、本葉数とも平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.19	5.23	△4
出芽期 (月.日)	6.1	6.5	△4
主茎長(cm) (6月20日)	10.0	12.1	△2.1
本葉数(枚) (6月20日)	0.2	1.3	△1.1

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

5) 小豆

作況：不良

事由：播種は平年より4日早い5月19日に行った。播種後の土壌水分は充分であったが、6月上旬の気温が低く経過したため、出芽期は平年並であった。出芽後も低温に推移したため生育は停滞し、主茎長、本葉数とも平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	サホロシヨウズ			エリモシヨウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.19	5.23	△4	5.19	5.23	△4
出芽期 (月.日)	6.8	6.7	1	6.8	6.8	0
主茎長(cm) (6月20日)	3.4	4.2	△0.8	3.6	4.4	△0.8
本葉数(枚) (6月20日)	0.2	0.8	△0.6	0.1	0.8	△0.7

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

6) 菜豆

作況：不良

事由：播種は平年より4日早い5月19日に行った。播種後の土壌水分が充分であったため、出芽は順調であった。出芽後は低温に推移したため生育は停滞し、草丈は平年をやや上回ったものの、本葉数は平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
播種期 (月.日)	5.19	5.23	△4
出芽期 (月.日)	6.1	6.6	△5
草丈(cm) (6月20日)	11.6	11.0	0.6
本葉数(枚) (6月20日)	0.3	1.3	△1.0

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、28年(最凶)を除く5か年の平均。

7) ばれいしょ 作 況：平年並

事 由：植え付けは平年より3日早い5月9日に行った。植え付けが早かったことと、5月中・下旬の気温が高かったことにより、萌芽期は平年より3～4日早かった。しかし、その後の低温により、6月20日時点の茎長は、「男爵薯」では平年並、「コナフブキ」では平年よりやや短かった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期 (月.日)	5.9	5.12	△3	5.9	5.12	△3
萌芽期 (月.日)	5.29	6.2	△4	5.31	6.3	△3
茎長(cm) (6月20日)	21.6	20.7	0.9	16.9	21.7	△4.8
茎数(本/株) (6月20日)	4.3	3.6	0.7	3.0	3.2	△0.2

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24(最豊)を除く5か年の平均。

8) てんさい 作 況：平年並

事 由：5月下旬の平均気温が平年より高かったため、6月上旬以降低温傾向であったが、生育への影響は小さく、各調査項目とも概ね平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	リッカ			アマホマレ			リッカ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	27.9	25.5	2.4	27.6	27.4	0.2	13.9	13.2	0.7
生葉数(枚) (6月20日)	10.1	11.4	△1.3	10.0	11.8	△1.8	8.6	7.0	1.6
茎葉重(g/個体) (6月20日)	97	93	4	91	105	△14	13	12	1
根重(g/個体) (6月20日)	18	15	3	21	23	△2	1	1	0

注1) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、26年(最豊)を除く5か年の平均。

9) 牧草(チモシー)

作況：平年並

事由：6月の平均気温は平年に比べ低く経過したが、1番草の出穂始、出穂期はいずれも平年より1日早く、収穫は平年より1日早い6月20日に行った。収穫時の草丈は平年より10cm高く、乾物収量は平年比102%と平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ノサップ			
	本年	平年	比較	
出穂始 (月.日)	6.13	6.14	△ 1	
出穂期 (月.日)	6.17	6.18	△ 1	
出穂程度 1番草	8.0	8.1	△0.1	
刈取日 (月.日)	6.20	6.21	△ 1	
倒伏程度 1番草	1.3	3.7	△2.4	
病害罹病程度 1番草	1.3	1.2	0.1	
草丈(cm)	(6月5日)	欠測	68	
	1番草	110	100	10
生草収量 (kg/10a)	1番草	2522	2896	△374
乾物率 1番草	24.0	20.9	3.1	
乾物収量 (kg/10a)	1番草	603	592	11
同上平年比 (%)	1番草	102	100	2

注) 平年値は前7か年中、平成24年(最豊)、27年(最凶)を除く5か年の平均。

出穂程度は、1：極少～9：極多。

倒伏程度および病害罹病程度は、1：無または微～9：甚。病害は主に斑点病。

10) たまねぎ

作 況：平年並

事 由：移植後から6月中旬まで降水量は多めに推移し、生育は概ね順調であった。早生種「オホーツク222」では、草丈、生葉数および葉鞘径のいずれも平年並である。中生種「北もみじ2000」では、葉鞘径が平年をやや上回っているものの、草丈および生葉数は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	オホーツク222			北もみじ2000		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (6月20日)	47.5	45.7	1.8	37.9	36.3	1.6
生葉数(枚) (6月20日)	6.4	6.6	△0.2	5.9	5.7	0.2
葉鞘径(mm) (6月20日)	12.3	12.0	0.3	10.5	9.6	0.9

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。